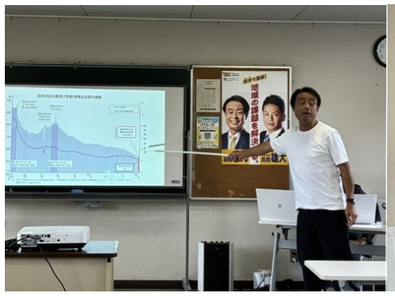
活動報告




高橋雄大岡山市議と共催で行う「県政・市政報告会」。今回は中区高屋の東公民館で開催。私からは、県の人口減少対策について、現状報告と政策提案を行いました。



県議会総務委員会で総務省を訪問。消防庁で山林火災への対応についてヒアリング。




「若者や若い女性の転出超過」が問題なら、当事者に話を聞こうということで始まった「若者・若い女性との意見交換会」。いただいた声は9月議会の質問に反映させました。



会派「民主・県民クラブ」有志と連合岡山幹部役員さんとの合同研修で、島根原発を視察。



古巣の天満屋グループ労働組合連合会の大会で県政報告。



ファジアーノ岡山の激励会。“推し”の藤田息吹選手と。



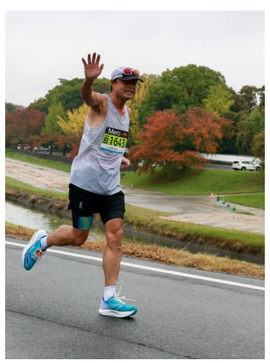
この日の朝街宣は新京橋。猛暑続きで日焼けが半端ない。



労働団体が主催する旭川荘の草刈りボランティアに参加。

おかやまマラソン　今年も走ります！

「おかやまマラソン2026」は、11月8日（日）に開催されます。私は、フルマラソン（42.195km）の部にエントリーし、抽選の結果、当選が決まりました。今年も何とかスタートラインに立てそうです。おかやまマラソンは2015年に初めて開催され、以後毎年行われていますが、コロナ禍で2回中止となり、今年が10回目になります。私は、抽選漏れした3回を除き、6回フルマラソンを完走しています。全国で数多くのシティマラソンが開催されるようになり、競争過多になっていることに加え、ここ数年は物価高騰で参加費も高額になっており、「定員割れ」に陥っている大会も少なくないと聞きます。おかやまマラソンは、参加者の満足度が高い大会として評価されており、今年の競争率も2.1倍と人気を維持しています。その分、抽選に外れやすいとも言えるので、当選できてよかったです。





発行：高橋とおる事務所　発行日：2026年10月3日
〒703-8271 岡山市中区円山118　サンライズビル201
TEL (086)238-7775，FAX(086)238-7785

WEBページ　facebook

熊本地震被災地訪問（ボランティア＆避難所視察）報告

ボランティア活動報告

シルバーウィークは、国民民主党の仲間と一緒に、7月に発生した地震で甚大な被害を受けた熊本県八代（やつしろ）市を訪問。2泊3日の日程で被災地復旧ボランティアの活動に参加し、避難所の視察なども行いました。

前衆議院議員の鳩山紀一郎氏（東京2区）、福田玄氏（広島2区）のほか、私を含む地方議員など総勢10名が、倒壊したブロック塀の撤去作業などに汗を流しました。4つの倒壊現場を掛け持ちし、朝から夕方まで屋外での作業に従事。気温が30度を超える中での長時間の力仕事は、還暦前のおじさんにはキツかったですが、依頼された仕事を怪我無くやり遂げることが出来ました。



避難所視察報告



八代市総合体育館（八代トヨオカ地建アリーナ）

ボランティア作業の翌日は、大倉裕一・八代市議会議員の案内で、3か所の避難所を視察しました。アリーナなどの運動施設を使った大規模避難所や、中学校の体育館を使用した避難所、地域のコミュニティセンター（規模の大きい公民館のような施設）内に設置された避難所など、それぞれ規模の異なる避難施設を訪問し、運営に携わっている方や避難者、ボランティアの方などからお話を伺いました。

発災から2ヶ月近くが経過し、いずれの避難所も、市の直営から、運営を民間事業者に委託する形態に移行していました。全ての避難所が空調完備で、避難者には、個人または家族単位で段ボールベッドや簡易テントなどが割り当てられ、支援物資や炊き出しなどの提供も、混乱なく行われていました。店舗が被災し営業が出来なくなった珈琲店の従業員の方が、ボランティアで避難所の皆さんに珈琲を振舞っている現場に偶然遭遇したところ、私たちにも美味しい珈琲を淹れてくれました。





太田郷コミュニティセンターの避難所で、ボランティアでコーヒーを振舞う「スターバックスコーヒー・ゆめタウン八代店」のスタッフの皆さん。

【視察した避難所】　避難世帯/避難者の数は9月13日時点のもの

八代総合体育館	避難世帯122/避難者199人
八代市立第二中学校	避難世帯51/避難者88人
太田郷コミュニテイセンター	避難世帯32/避難者57人

とおるの感想　訪れた3箇所の避難所は、いずれも避難者の大半が高齢者でした。もともと八代市の高齢化率は40%超で、高齢化が進んでいたことに加え、今回の地震では、1981年以前の古い耐震基準で建てられた建物の損壊が激しく、そのような古い家にお住まいの方の多くが高齢者だったという背景もあるようです。独居で家族がいないご高齢の方も多く、足腰が弱っていたり、体温調節期機能が低下していたり、認知能力に衰えが見られる方が多くいらっしゃいました。避難所にも老人福祉施設のような機能が求められている実態を目の当たりにし、発災時の避難者の高齢化問題について、改めて考える機会になりました。超高齢化が進む我が国で、自然災害が相次いでいます。対策が急がれます。